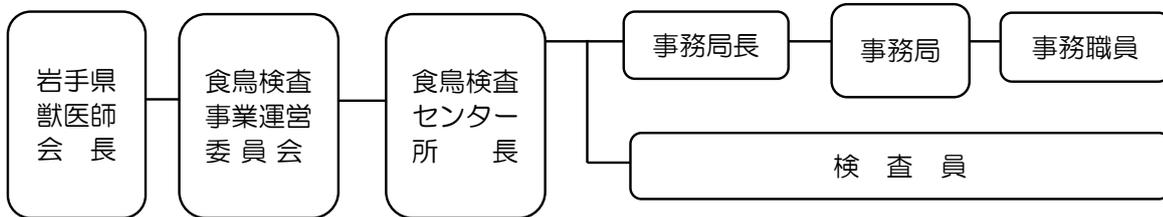


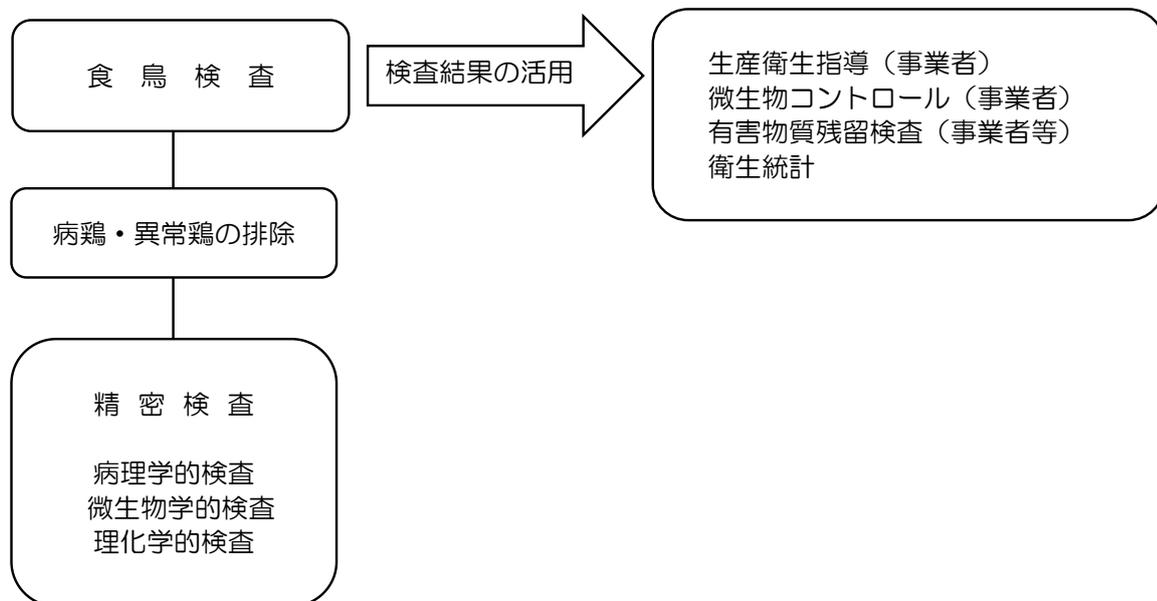
食鳥検査事業内容と組織

1. 食鳥検査センターの組織



2. 事業の内容

食鳥処理場において鶏およびあひるの生体検査、脱羽後検査、内臓摘出後検査を行うとともに、必要に応じて精密検査を実施しています。



3. 職員および受任処理場（令和2年度）

総勢55名の獣医師である検査員を食鳥検査場にそれぞれ2～9名配置し、食鳥検査に当たっています。岩手県内には岩手県が所管する食鳥処理場が11処理場、盛岡市が所管する食鳥処理場が1処理場あり、岩手県及び盛岡市から計12か所全部の食鳥検査を受任しています。

4. 食鳥検査成績

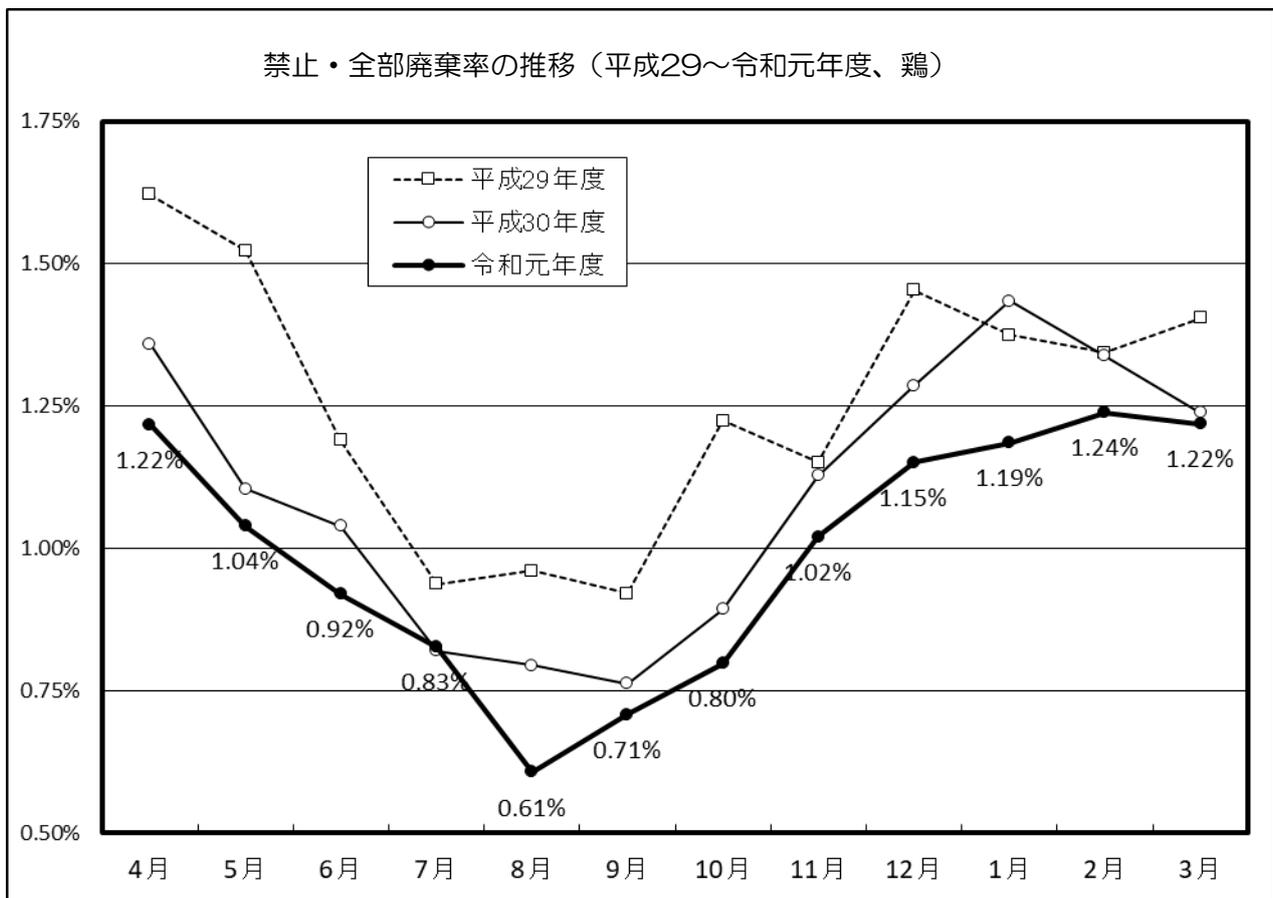
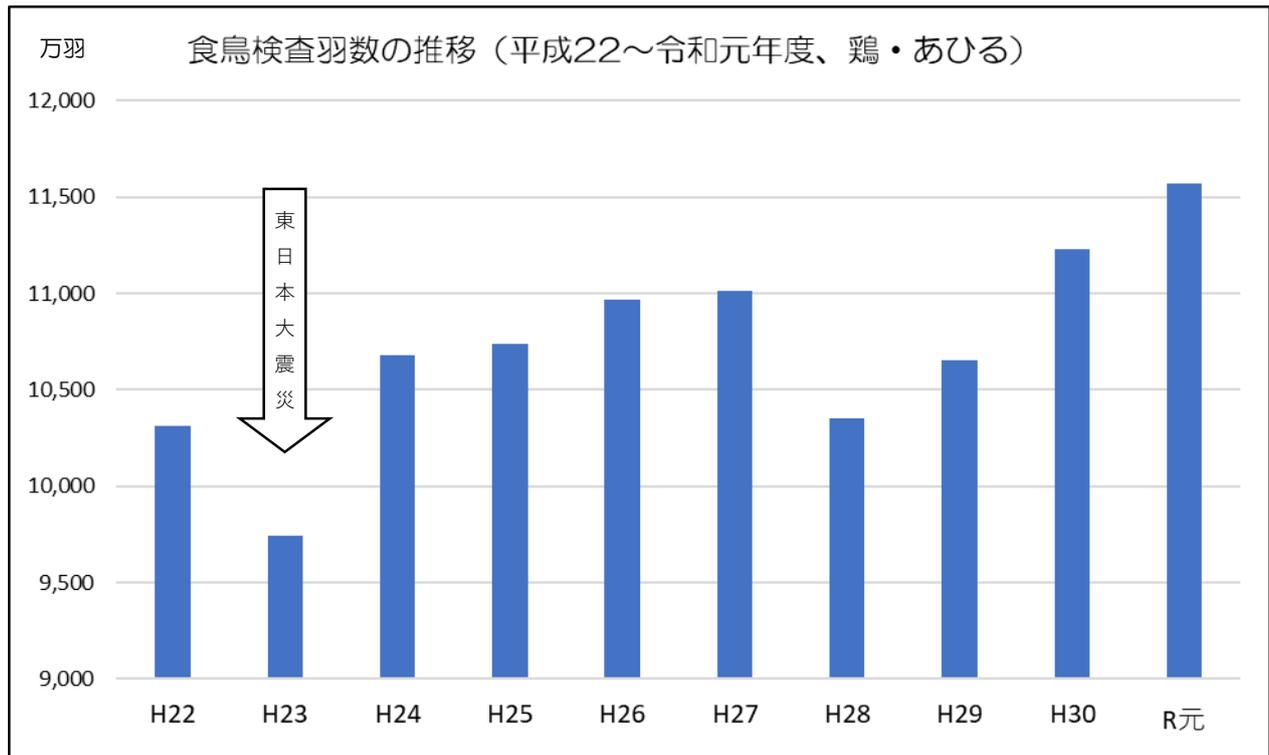
【廃棄処分の状況】

令和元年度

	鶏（ブロイラー）			あひる		
	検査羽数	115,275,343		検査羽数	439,213	
	禁 止	全部廃棄	一部廃棄	禁 止	全部廃棄	一部廃棄
処分実羽数（01）	140,215	1,008,144	2,257,970		3,351	1,568
マレック病（08）		70				
大腸菌症（10）		479,224				
膿毒症（16）					1	
真菌症（18）					357	
変 性（21）	43,859	95,420	375,212		25	175
腹水症（24）	37,615	293,309			2,207	
出 血（25）	17,557	6,271	174,072		1	2
炎 症（26）	4,067	35,547	1,702,684		258	1,391
腫 瘍（28）		2,733	2		1	
外 傷（32）	63	148	6,000		1	
削瘦及び発育不良（34）	34,910	69,301			143	
放血不良（35）	1,439	9,547			338	
湯漬過度（36）	705	15,832			13	
その他（37）		742			6	
計（38）	140,215	1,008,144	2,257,970		3,351	1,568

大腸菌症（10）のうち 蜂窩織炎（内数）		96,317				
-------------------------	--	--------	--	--	--	--

廃棄処分のあった疾病のみ計上しています。



岩手県内の食鳥処理場（検査室）位置図

